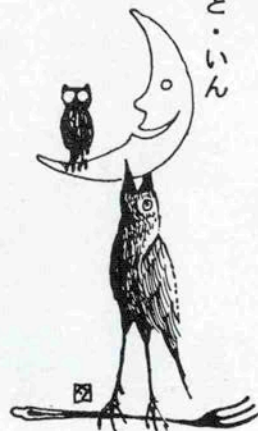


びっと・いん



★100年前のカレーを再現！
京町のオリエンタルホテルでは神戸開港125年を記念してサックスフェアを開催。そのなかでコーヒークロス エリートセブンでは開港当時のカレーライスを再現している。

オリエンタルホテルは明治初期に建てられた現存する日本最古のホテル。神戸開港125年を記念して、総料理長の石坂勇さんが明治時代に書かれた料理本を調べ



100年前のカレーはどんな味？

たり、明治生まれの先輩コックさんのレシピをもとに100年前にオリエンタルホテルで食べられていたカレーライスを再現することになった。

オリエンタルホテルに現存する26年のメニューには「マートン&カレー」としてカレーライスが登場している。開業当時のメニューは戦災で焼失したが、初期の頃にカレーが存在した事は確かとの事。昔は具が鶏肉や伊勢海老であったり、カレーと粉の配合が違ったりしたが、基本となるベースは100年続いた現在の調理法にも伝統として受け継がれている。

レトロムードいっぱい旧居留地で「文明開化の味」をぜひ一度、試してみたい。●1階の喫茶店「カフェ・ド・ラフェ」ではアップルパイアラモードフェアを開催。デザートにどうぞ。

■中央区京町25 番331 8111
11時〜22時半 '92年3月31日迄

★しなやか麺とモダンなお店が自慢！きむらそば処
新長田駅を北へ5分、長田郵便局前の「きむらそば処」は、神戸っ子好みのお店。カフェテリア調の店に、女将さんのきつぷのよさが相まって、和と洋のミックスした雰囲気を出している。アーチ型の天井からのシンブルな照明がクリーム色のカウンターを柔かく包んでいる。味は、秀



そばのおいしい季節！

逸。しなやかな麺から軽い弾力が伝わってくる。カレーうどん、すじうどんを逃がしてはならない。いなりや太巻きビッグなこと、日替りおまかせ弁当(千円)は、毎日の楽しみとなるでしょう。百聞は一食に如かず。まずは、「きむらそば処」の白いのれんをくぐってみよう。

■長田区福田町6-11-14 番691
6107 11時〜20時 水曜休

★四季折々の味、味菜
北野坂、ソネの向かいにある味菜は、素材の味を生かした京風日本料理店。店主は狸々で修行を積んだ本格派だ。

くえの刺身、本しめじの土瓶蒸し、生ゆばの穴子巻などなど……注文に応じて作ってもらえる。酒は吟醸6種、白鷹、バーボン、ワイン。夜は一人一万円位で充分に楽しめる。

昼(11時半〜14時)は、味菜弁当1500円(刺身



スタッフは若いのが、味で勝負します。

焚合せ、天ぷら、茶碗蒸、赤だしごはん、松茶堂弁当2500円、がお推め。少人数パーティ(15人迄)も相談に乗ってもらえる。年末年始特別メニューも。神戸っ子読者の方は申し出ると、一品サービス有。

■神戸市中央区中山手通1-22-4
グラン山手地下1F 番251 00012
11時半〜14時、17時半〜22時 日曜休

★「花」から「マダム
グレ」に

懐かしい英国調のピアノ
に優雅な唐草模様の窓とス
モークグリーンのソファ。
木彫の棚とスタンド。

「マダムグレ」のセツトは
ほっとする。ママの重森み
な子さんは「花」の名で永
年店を開いていたが、一年
半の休業後、6月に「マダ
ムグレ」としてオープン。

すっかりとスタイルの良
くなったママは朝丘雪路み
たい! グラスや器も凝っ
てママのセンスが伺える。
といつもちゃんと今様
にカラオケもOK。

■中央区下山手通2-17-10 ライ
オンビル三宮館B1F003号 日祝日休
321-1606 18時〜0時半

★K O B E
デビュースポット
「上海俱樂部」



照明のシェードの色、壁の絵が素敵

北野坂で今、一番新
しくて注目度NO.1
のものといえば、高山
ビル。そのB1、2に
ある中国酒場「上海俱
楽部」は、飲茶とは違
う神戸初の小皿中華で
話題をさらっている。
上海湯麵(ラーメン)
が180円、餃子300円など
小皿ならではのリーズ
ナブルな値段、そして
小人数でいろんなもの
が食べられるというこ
ろがカップル、女性客

★南京町に洗練された
ニューフェイス「龍郷」
広大な大地で培われた中
国料理は、北京、
広東など地域によ
って大きな特色を
持っている。南京
町にオープンした
中華菜館「龍郷」
は、そんな中国料



シックで落ちついた「マダムグレ」の店内

理の魅力を集めて生まれた
独自の現代中国料理。お客
様と厨房を近づけるのが
夢、という二人の料理長の
チームワークで、洗練され
た中にも親しみやすい味が
創り出されている。ネオ・
クラシズムを基調にした端
正な空間は南京町一の広さ
を持ち、パーティーにも利
用できる。

■神戸市中央区栄町通1-3-16
チャイナコート2・3F
321-2937 11時〜21時



南京町の新しい顔「龍郷」

にびつたり。豚足(380
円)などもあり、料理
の種類は豊富で何度で
も足を運びたくなる。
中華大好きな神戸っ
子が気軽に立寄れる店
だ。

■中央区加納町4-6-8 北
野坂高山ビルB1F2F 16時
〜0時 322-1722
日祝日休

△おわびと訂正▽

先月号の「デビュースポ
ット」で、「季節茶屋利水」が
「フランス料理」と表示され
ていたのは誤りでした。
おわびと共に訂正させてい
たきます。

御家庭にお届けします!

ナチュラルミネラルウォーター

丹波の水

Cha-Cha「コーヒー、お茶専用」

丹波の水 タンク20ℓ入

“丹波の水”

(1ケース・1ℓ-15本) 3000円

(1ケース・1ℓ-15本) 4500円

1800円

<消費税込み>

●サンプル等ご希望がございましたら、ご一報下さいませ

■お申し込み先・お問い合わせ先 ゼネラル・ウォーターサービス神戸

〒650 中央区花隈町3-12 R.H.インターナショナル株式会社内

TEL 078-371-6808 FAX 078-371-4368



ポケット ジャーナル



★県下から3氏が

地域文化功労者賞、受賞
平成3年度の地域文化功
労賞に、県下から米花稔氏
(神戸大学名誉教授、今里
幾次氏(興進産業株式会社
取締役・姫路市文化財審議
会委員)、飛松實氏(歌人・
兵庫県歌人クラブ顧問)の



3名が
選ばれ
た。米花 稔氏



同賞
は全国
各地域
におい
て、芸
術文化
の振興



飛松 實
文化財
の保護
に尽力

等に、地域文化の
振興に功績のあった個人、
団体に対して、その功績を
称え、文部大臣が表彰する
もので、今回が10回目。
表彰式は11月19日、東京
の如水会館で行われた。

★ともしびの賞贈呈式

兵庫県下各地域において
文化の向上に尽力された方
々に贈られるともしびの賞
贈呈式が
11月13日
兵庫県公
館におい
て行なわ
れた。
受賞者
は以下の通り。



★個人(14名)
田中 馨(農村歌舞伎、
寺脇公孫(俳句)、山田美
耶子(日本画)、上田助五
郎(詩吟)、梶本孫一(盆
裁技術)、南野武衛(郷土
史研究)、龍見芳子(手工
芸、藤原 壱(短歌)、吉
田太郎(写真芸術)、芦田
春夫(児童合唱団)、稲葉
光蔵(播州音頭)、中村長
吉(俳句)、今井亀夫(伝
統文化)、中島柳邨(水墨
画)。

★団体(4団体)

池尻神社人形狂言保存会

(代表・岸本清一)、稲塚
風流神踊保存会(代表・波
多野乙彦)、万歳ねりの
団(代表・池澄巳三男)、
緑町五尺おどり保存会(代
表・島田謙一)。

▼神戸の年末は、やっぱり
神戸歌謡祭

神戸の年末、恒例のビツ
ダイバント「神戸歌謡祭」
が、12月13日(金)午後6時
から、神戸国際会館大ホー
ルで開催される。

神戸の行政、経済、文化
をリードするキーマンたち
が、熱唱する神戸歌謡祭。
毎回、会場を超満員にし、
話題に事欠かないが、今回
はどんなダイナマイクが爆
発する
か。



当日の
模様は
サンテ
レビジ
ョン特別番組として、12月
29日(日)、14時から放送さ
れる予定。

▼ネイチャートレイルの
可能性

野外活動、人間関係、芸
術など、様々な点から人と
環境との関わりを考えてい
くことを目的として、第一
回環境教育レンジャーワー
クショップ(主催 関西学

★誕生日ありがとう運動



古切手にいのちを!!

障害児につきまとう偏見をなく
そうとする私たちの運動にご賛同
くださる方に、毎年一回すべての
人に巡ってくる誕生日のお祝いの費
用を、意識的に節約して献金のこ
協力をお願いしています。

そのほかに、使用済みの古切手
の収集を、呼びかけています。外
国切手はもちろんのこと、国内の
記念切手だけでなく、普通の切手
でもOKです。切手の周囲を五ミ
リほど残して送ってください。当
本部ではこれを整理分類して古切
手セットを頒布し、運動の基金に
しています。

用が済めば捨てられる運命にあ
った古切手を活用して、いわば古
切手に命を与えています。

全国のみなさまから小さな封
筒、大型の封筒、中には段ボール
にいっぱい古切手がつまって毎日
送られてきます。そしてその中
に、心のこもったお便りも入っ
ており、それが私たちの心を励まし
てくれるのです。

先月もある小学校から次のよう
なお便りをいただきました。「全
校生徒六五〇人が何か社会のお役
に立ちたいと考えた結果、貴本部
に古切手を送ることに決めまし
た。」

どうかみなさま、古切手に命を
の私たちの気持ちをくんでご援助く
ださるようお願いします。(K)

誕生日ありがとう運動本部
651 神戸市中央区御幸通8-1-16
神戸国際会館1階 郵便局の隣
番〇七八-1-1311-114

院・聖マーガレット生涯教育研究所)が、関西学院千刈キャンパスで、ゲストに生態計画研究所所長の小河原孝生氏を迎えて行われる。テーマは「自然からのプ



千刈キャンパスセンター

レゼンテーション・ネイチャー・トレイルの可能性」実施日は12月21日(土)23日(祝)。参加費28,000円。

問い合わせ先は、関西学院千刈キャンパス ☎0795-631-5233。

◆第27回賀川記念館恒例のパザー開催

本年度、第15回井植文化賞社会福祉部門を受賞した賀川記念館(村山盛嗣代表)において、毎年恒例のパザーが開催された。

去る11月3日、27回目を迎えた今回のパザーは、好天にも恵まれて大盛況。

今回のパザーは、先駆者的役割を果たしている一人住まい老人の給食サービス活動の充実や、現在計画されている地域高齢者施設づく

りなどが目的とされている。



ワイワイ、賑やか

▼「サロン・ド・エコレセ」

20回記念は海洋博物館で本高砂屋「高砂会」とチヨコレットの「一番館」が主催で二カ月に一回行なっている演奏会「サロン・ド・エコレセ」が、この12月で20回目を迎える。

いつもは50名程のサロンで演奏者の息づかいも感じられる、アットホームな雰囲気なが売り物だったが、今回は20回目を記念して、メリケンパークの海洋博物館ホールで盛大に行う。

2時間たっぷり音楽の世界にひたって、身も心もあたたかに。

詳細は次の通り。
日時 12月7日(土)
14時~16時

料金 1500円(海洋博物館の入場料を含む)

場所 神戸海洋博物館ホール

問い合わせ、申し込みは本高砂屋高砂会事務局
☎078-857-3329

▼みんなで夢をかなえたい

一枚の布が、美しい花やアクセサリに姿を変えるトランスパレン。フラワードザイナリーの松本志津子さんは、その美しさをTシャツやトレナでも表現。ファンタジックな夢を広げている。またプリント素材に新進画家の絵を使うなど、若い才能にも目を向け、今後は、展示会の開催なども



松本志津子さん

予定。夢は広がるばかりだ。

問い合わせ先は、フラワード・エコレセ・ECO
☎331-8687

▼KOBELCO「華の会」

メキシカン X'mas 開催 神戸製鋼に7年に入社した社員の同年会「華の会」。毎年クリスマスには多様な催しで好評を得ているが、今年はラテンの中でもメキシカン・スタイルを取り入れ、他とは一味違った X'mas を提供してくれる。

図書ガイド



もっと劇的に話してみませんか

富内 淑子

キャスター、パーソナリティー、兵庫県主任広報専門員、短大講師など、多彩な活躍でその存在をアピールしている著者が明かす自己のアイビルとコミニケーションの秘訣、「視得の印象革命」この一冊で、クリスマスパーティーも忘年会も怖くない。初対面のドラマを楽しまします。(KKベストセラーズ刊 七七〇円)



中村 隆
批評集

一九九三年二月二日から一九九四年十月十一日まで、神戸新聞文化欄に掲載された故中村隆氏の詩集評を収録編集した本。また巻末には「こうへ芸文文学選」(神戸芸術文化会蔵)に発表された、神戸を中心とした現代詩の展覧的エッセイも併録している。丹念に評された詩集の数々。そこには、故人の人物と詩、言葉に対する深い洞察が在る。(編集 井口幻太郎 二〇〇〇円)



三浦啓子の
ガラスアート

光は、それ自体、色も臭いも持たない。けれども、あらゆるものは、その光の恩恵を受けて姿を現わす。「ロクレール」と呼ばれる手法で、押し広げられたガラスアート。の優美な世界。光と戯れるガラス。ガラスと一体化する光。その情景からは、静かな呼吸が聴こえる。(春秋社刊 一五四〇円)

詳細は次の通り。

日時 12月15日(日)
17時〜20時

場所 神戸国際会館さごう

コミュニティホール

参加費 女性 5500円
男性 6500円

申込み 神戸製鋼 原田孝
☎992-5612

華の会の会員でなくとも
誰でも参加できる。

▼ポストカード

コレクション

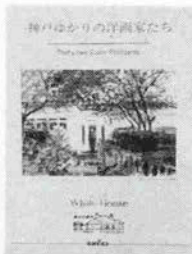
北野地区の文化拠点とし
て誕生し、3周年を迎えた

神戸・北野White Houseが「ポストカード

コレクション」を発行した。

8ページ、32枚のポスト

カードで構成されているポ
ストカードコレクションは
神戸ゆかりの洋画家たちの
作品で飾られている。
一部1500円、White House、インフ
ォメーション神戸で販売し
ている。



▼大人のスポーツクラブ

来春、三宮京町にオーブ
ンするニッセイ・エグザス

三宮は、ゴージャスな雪囲

民葬」が挙行された。

葬儀委員長の笹山幸俊

神戸市長はいさつの中

で「生涯を「気骨」の精

神で生き抜き、市長とし

て、法曹界や国政、県政

などの場で信念の人とし

て、その偉業は神戸の歩

みの中で燦然として輝い

ている。」とその遺徳を

しのんだ。

平成元年の新年の名刺

交歓会の一コマが想い出

されてくる。当時の市長

は宮崎辰雄氏であった。

その当時の宮崎市長は

新年のあいさつが終り、

気の中で落ち着いて楽しめ
るスペース。健康体力診断
や、トレーニングもしても
らえる。個人入会金は5万
円だが、今入会予約すると
2万円で会員になれる。

問い合わせは☎391-

5541・ニッセイ・エグ

ザス三宮予約センターまで

★読者プレゼント

①「ポストカードコレクション」

と②「ニッセイエグザス・テレホン

カード」をそれぞれ5名様にプレゼ

ント致します。

官製ハガキにて、ご希望のナンバ

ーをどちらか一方だけ明記の上、

神戸市中央区東町11-1大神戸ビル

9F 月刊神戸っ子ポケットジャー

ナルプレゼント係まで申し込んで下

さい。

締め切りは、12月24日(火)

なお、当選は発送をもって発表に

代えさせていただきます。

参加されていた中井一夫

さんを壇上に迎え「中井

一夫さんに神戸市の名誉

市民の称号を贈ることを

市会に申請をした」と報

告、中井一夫さんは挨拶

の中で「これからも、い

よいよ神戸のために、ひ

いては関西のために、日本

のため、そして世界のた

めに尽したい」と堂々と

神戸市の名誉市民称号を

受けられた挨拶をされ一

瞬、満場がシンとなり、

大喝采となって面目躍如

たるものだった。

●KOBE POST

★財団法人・国際日本文化研究交

流財団(理事長小林庄一郎)が、

桂坂の国際日本文化研究センタ

内に移転。新所在地は、〒610-11

京都府西京区御陵大校山町3丁目

2番地 ☎(075)3321868 FAX

(075)3315655 なお未次種子さ

んが、11月より常務理事に就任さ

れました。

★株式会社ジェイコム神戸本部の

難波啓佑部長が、株式会社ジェ

コム本社(☎06-13371)企

画情報室(☎06-341-7455)に

へ転任。後任に、林雅治神戸本

部長が就任されました。

★神戸ネットロビカル協会(森美

代子会長、藤本ハルミ代表幹事)

の「12月19日に、神戸ポートビ

アホテルエメラルドルームで、午

後6時30分より開催されます。司

会、松島武雄、音楽、富永振一、

ニール・サウンス、唄/山本愛ノチ

ケット・2万円ビジター2万3千

円 ☎(075)292-5690

★11月1日。大牧祥子さんが、念

願のチャリティショップ「ユウワ

クラブ」をオープンされました。

神戸市兵庫区荒田町3丁目42ノ12

☎(078)5310276

★乳幼児教育の神戸アカデミーの

叶健治さんが、祥文社より「赤

やんはみんな天才になれる」を

上梓されました(定価1,200

円 本体1,165円。11月28日

6時から出版記念会を六甲荘で開

催。

★新しい地球文明の創造へ向け

てをテーマに、神戸地域産業フ

ォラム(佐野博持理事長/社

団法人神戸内海環境保全協会・

原稔会長/地域産業フォラム

交流会議/佐野博持議長)が、

第7回H.A.N.合同新春賞賛交歓

会を、12月18日に、神戸ポートビ

アホテル南館大輪田の間で開催し

ます。当日会費一万円、ご予約八

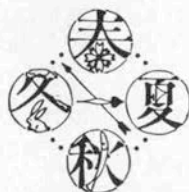
千円、ペア一万四千円 ☎(078)3336

602 FAX ☎(078)3325119 神

戸地域産業フォラム事務局 山

田親事務局長

花 時 計



中井一夫氏の市民葬

平成三年十月十八日に
一〇一歳の天寿を全うし

て元神戸市長、中井一夫

翁が逝去された。そして

去る十一月二十一日(木)

午後一時三十分から神戸

ポートアイランドホール

で「故中井一夫氏神戸市

愛読者のためのコミュニケーションサロン



神戸っ子倶楽部新会員
継続会員ご案内

■神戸っ子倶楽部では、ただ今会員を募集しています。会員の方には「月刊神戸っ子」を1年分お届けします。また、神戸っ子倶楽部の会報として、「月刊神戸っ子」の誌面上に、「神戸っ子倶楽部ニュース」を毎月掲載、会員の動きなど様々な情報を提供します。さらに年2回、文化性の高いイベント（コンサート、美術展、演劇など）に特別割引または無料でご招待いたします。年会費（入会金を含む）は1万円です。

神戸を愛する人たちのカルチャークラブ「神戸っ子倶楽部」。あなたもご入会になって豊かな神戸っ子ライフをお楽しみになりませんか。

会員の方は有効期限をお確めのうえ、継続会員として年会費をお納めください。

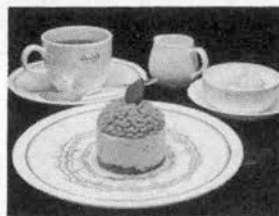
□入会申込・お問合せは――

〒650 神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F
TEL・078-331-2246
FAX・078-331-2795



日本を愛し、日本人の心を歌う
グラシエラ・スサーナ
デュエット サンドラ・アロンソ

’81年に来日した時に森繁久弥氏と初めて会い、ほんとうの日本人の心を表現できる歌手」と絶賛されたスサーナ。’91年には日本デビュー20周年を迎え、二枚目のアルバムも発売。そのスサーナとアロンソのコンサートを会員の方に10%OFFでご優待します。



神戸・北野坂
カフェ・ランド
リニール

スイスのビュンドナー地方はくるみの産地。くるみと蜂蜜を使ったヌッスジュニツェやマロンのケーキ（写真）など、素材のおいしさを生かしたスイスのお菓子が人気。会員の方にペアで20組様、試飲券をプレゼントします。

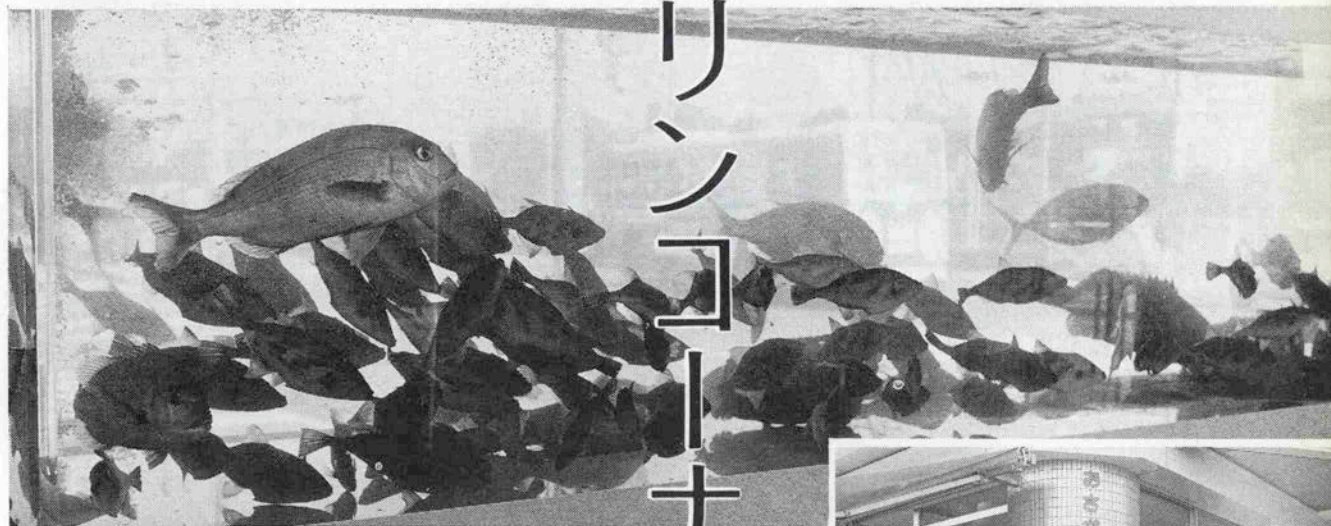
旧居留地を歩いてみよう！

栄町通から旧居留地界隈には、風格ある近代洋風建築が建ち、お洒落なブティックが点在する、今、神戸で注目を集めている地域です。「神戸港を考える会」では、近代洋風建築の場所をかわいいイラストで示した地図「POKO MAP」を作成。潮の香りを感じながら、地図を片手に街を歩けば、きっと新しい発見があるはず。会員の方10名様にこのポコマップをさしあげます。

■上記チケットを御希望の方は、ハガキに住所・氏名・会員No.・電話番号・希望枚数を明記の上、〒650 中央区東町113-1 大神ビル9F月刊神戸っ子・神戸っ子倶楽部まで

るぼるたーじゅ神戸

マリンコーナー



文 有井 基
△フリーライター△
カメラ 森田篤志



街かどの水族館、とでもいうべきか。

神戸市中央卸売市場本場（兵庫区中之島一ノ一）に、「マリンコーナー」がお目見えした。といっても卸売場と市道高松線を距てた向い側の角店で、Ｌ字型にガラスの水槽が据えられている。道路に面した側の幅は三・三メートル、深さは六・六メートル。水が五トンも入る大きさだ。

透明なガラスを通して、タイやヒラメ、ハマチ、シマアジ、エビなどの遊泳する姿が見られる。魚を見慣れた大人には珍しくなるが、登下校時の小学生たちは、ガラスにへばりついて見入るといふ。

同市場での最大卸業者、神港魚類株式、いうなればシヨウ・ウインドーだ。社長の小林睦昌さんは

「だからといって、あの泳いでる魚を売ってくれ、といわれても、うちは卸業だから小売りはできませんし、まあ、魚に興味を持ってもらう、とっかかりになれば、というところでしょうか」

きわめて控えめだ。しかし、売場には、缶詰、つくだ煮、ハム、ソーセージなどのほか

エスカルゴ（カタツムリ）、海ガメ、カエル、ワニ、カモ（中国・台湾・フランス）、ダチョウ（南アフリカ）、シカとイノシシのもの、ロース、ガラガラヘビ、キジ、ターキー（七面鳥）、ウコッケイ（中国）

といった動物の肉も並べられている。ゲテモノではない。アメリカから来たプロ野球選手がワニの肉を食ったと聞いて、パワーにあやかりたい人もあるようで、これらが結構、売れるという。

売れるのはいいが、なぜ、魚市場にワニやダチョウなのか。ふと思ひ出したことがある。昭和五十七年の秋、本場開設五〇周年記念の式典に招かれた。その際、水産物を扱うＩさんが

「神戸市民の台所をまかなう市場」やいうけど、消費者である市民は、近所の魚屋かスーパーにしか目が行ってへん。ここもオヤジの時代（昭和七年開場）から仕組みも考え方も、あんまり変わってへんさかいなあ」

と話した。なぜか記憶に残っていたが、それから五年後の昭和六十二年三月、新本場が出来た。天井が高さ三・五メートルから四・九メートルに高くなり、柱の間隔が五・五メートルから十八メートルに広がった。買出入用の屋根つき駐車場も九百台から二千二百台へ増えた。

時代の流れに合わせて、低温卸売市場や活魚水槽が設けられ、食品の安全確保のため全国の市場でも珍しい食品衛生検査所も備えられた。見学者コーナーからは、セリの様子も一望できる。なんとか「開かれた市場」にしたいという意欲は分かるが、全体としてスケールは決して大きいとはいえないだろう。



猪俣 廣海さん



田中 辰夫さん



小林 睦昌さん



市民が気軽に立ち寄れる開かれた東場——。
マリンコーナーもそのためのイメージ作りだ。

150

神港魚類の常務・猪塚廣海さんの案内で「マリンコーナー」の裏側路地へ入った。ここは、私も「安くてうまい食堂」目あてに何度も（といっても三十年間で十数回）行った通りである。

魚市場に接した食堂で、イキのいい魚をおかずにもシを食うダイゴ味は格別だ。私など、つい看板の「めし・しる」に目をとられて飛び込んでしまうが、案内されたのは「七福（しちふく）鰯」。この店主・河並孝さんは、だが、いつ来ようとわけへだててしない。知った人にはそれなりに、いちげんにもそれなりに応待しなから、お世辞をいわないのが何よりいい。

にぎり一品ずつ出る。一番手はタイ。次はクジラの尾の身。三つめがフォアグラだ。二個ずつ出てくるが最初は、ちよいと生醤油をつけて。次はフォアグラに刻みネギを乗けてボン酢で。

「食えるねえ。これは、うまい。なんで、これ、ネタに使いはったん？」

聞いたら答えがそっけない。「そらア、何ちゆうてもコクサイトシでっさかいなあ」。冗談めかすが、にぎりのネタは魚介類と頭から決めつけている側の間違いを、やんわり、たしなめられた気がした。

フォアグラの次は、グルメが珍重するキャビアだ。黒

「広く清潔で買い出しに便利な市場」というキャッチフレーズに、いつわりなしと分かるには、市場に入るしかない。が、ここまで、どう市民を誘導するか。Iさんのことばと思ひ合わせると、小さな実験には違いないが客寄せの話題として「マリンコーナー」の存在は決して小さくない。

「島国日本の食べ物といえば、何というても魚ですからねえ。それが今の子どもらは、魚といえば切り身で泳いだるように思うとるし、若い親たちも魚介類が、どれほど豊富な栄養を持った健康食品かというのを知りませんわなあ。そやから、魚になじんでもらうことが先なんですわ」

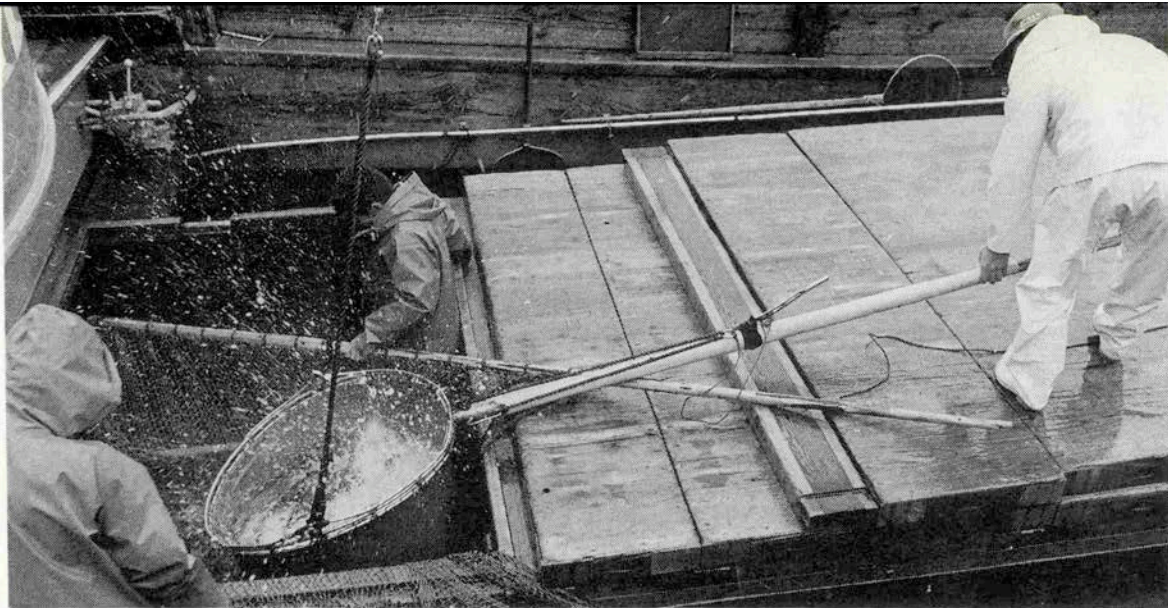
全国水産卸組合連合会副理事長で、神戸おさかな普及協会代表理事でもある田中辰夫さんは真剣である。

おさかな普及協会のことを神戸新聞の藤田博巳記者から聞いたのは五年も前だったか。その協会が、花嫁料理コンクールなどを通して、まず若い母親から魚介類に親しませるよう努力しているのを改めて知り、なんだかサボってきた反省を迫られる気もする。

ちょうど昼メシどきになった。小林さん、田中さん、

知る人ぞ知る七福鰯。
流石にネタはとびきり新鮮。





活魚船からイキのいい魚が水揚げされる。

ゴマの化身みたいなチョウザメの卵がどうした、と思っ
て食べたら、塩味はあちらまかせ。これもいい。ついで
に、さっきのガラガラヘビの肉（ちようど『ガラガラヘ
ビの体温計』という本を買ったばかりなので）について
聞こうとしたら、

「あれはデベラみたいなのに、どつきまわしてクタクタに
しとくと、ロソ中でシャゴシャゴしますよって」

河並さんが答える。誤解があつては申しわけないので
申しあげるが「七福」は、いつも、こうした珍味を売っ
ているのではない。あとはシマアジ、糸イカ、子持ちコ
シブ、エビ……と続いて止め柵。

さて、ビールのほろ酔い加減も手伝って「マリンコー
ナー」に戻った。すると、ワニもカエルもカモも、極端
に言えば不老長寿のクスリも、区別を感じなくなってい
た。人は食べなければ生きられない。さりとて、何を食
べて生きるか。その選択肢が、さっきの、うまいスシの
味と重なって限りなく境界を見えなくしてくる。

こうした一角を、どうやって、まちづくりの中に取り
込むか。神戸市は「インナーシティ総合整備基本計画」
で兵庫区の南部地区の活性化へ、視点を合わせている。
その中では「マリンコーナー」から西へ100mほどの入江
橋から兵庫運河までの間に「ウォーターフロントプロム
ナード」として河畔を整備するプランも考えている。

「そこへ、イキのいい魚を提供するレストランを出す
とか、観光バスの客を親しめる市場のPR理解にどう結
びつけるか検討しているところですよ」

田中さんは、まちづくりとつなげて中央卸売市場本場
を、いかに位置づけるか、大きな手ごたえを感じて手ぐ
り寄せる。

問題は、神戸市が計画している「兵庫津歴史の道」が
源平遺跡を基本にしながら具体的な遺構がないのと比べ
て、中央卸売市場の場合、きわめて現実的であるがゆえ
に歴史の道と一線を画す、その小さな落差を、どう整合
するか。少なくとも、この溝はクリアできるはずだが…。